



2026年12月期 第1四半期 決算説明会資料

2026年5月14日

ローランド株式会社



BOSS『GX-1』

● 2026年12月期 第1四半期業績

- 売上高は実質成長 + 為替の追い風により**増収**
- 営業利益は、米国関税影響を吸収し**増益**

● 2026年12月期 通期業績見通し **増収・増益（変更なし）**

- 半導体メモリ価格が想定以上に高騰
- 中東情勢緊迫化により、原材料費上昇、調達環境悪化懸念
- 一方で米国関税負担の一時的な減少に加え、為替も想定比円安で推移していることから、**コスト増要因は概ね吸収見込み**

1 2026年12月期 第1四半期決算概要

2 2026年12月期 通期業績見通し

3 補足資料

1 2026年12月期 第1四半期決算概要

2 2026年12月期 通期業績見通し

3 補足資料

決算のポイント

売上高

256億円

(YoY : **+13.7%**)

- 為替の追い風を除く実質成長 YoY+5.9%
- 楽器市場はゆるやかな回復基調
- 価格適正化効果に加え、新製品群も貢献

営業利益

19億円

(YoY : **+35.0%**)

- 米国関税等によるコストアップ影響残るも、打ち返しを継続
- 為替の追い風を除くベースでも前期並みを確保

四半期純利益¹

14億円

(YoY : **-22.1%**)

- 前期に税費用の期ズレによる一過性要因があった反動
- 社内計画インライン

¹ 四半期純利益は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」を指す

連結業績

(単位: 百万円)	2025年12月期 Q1 ¹		2026年12月期 Q1 ²		
	実績	売上比	実績	売上比	YoY
売上高	22,543	100.0%	25,633	100.0%	+13.7%
売上総利益	9,559	42.4%	10,682	41.7%	+11.8%
販管費	8,117	36.0%	8,735	34.1%	+7.6%
営業利益	1,442	6.4%	1,947	7.6%	+35.0%
四半期純利益 ³	1,835	8.1%	1,429	5.6%	-22.1%
EBITDA	2,198	9.8%	2,679	10.5%	+21.9%

為替影響額
約+17億円

1 2025年12月期Q1の為替レート 米ドル/円：152.62、ユーロ/円：160.56、ユーロ/米ドル：1.052

2 2026年12月期Q1の為替レート 米ドル/円：156.88、ユーロ/円：183.70、ユーロ/米ドル：1.171

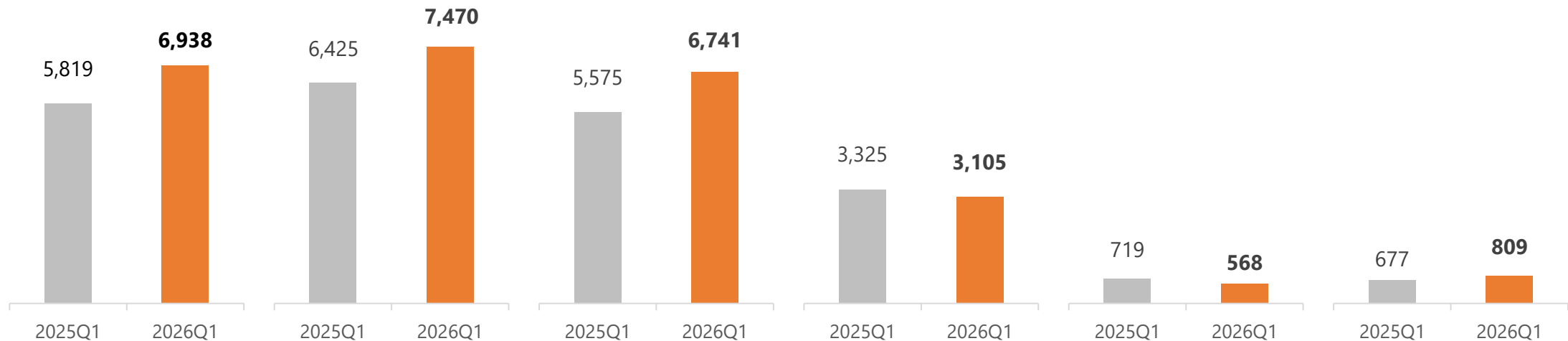
3 四半期純利益は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」を指す

製品別売上高

- 主力の鍵盤楽器、管打楽器、ギター関連機器で増収
- クリエーション関連機器は、前年同期間に大型新製品を投入したことによる反動減
- 映像音響機器は、前年同期間に大型商談があったことによる反動減

単位：百万円

	鍵盤楽器	管打楽器	ギター関連機器	クリエイション関連 ²	映像音響機器 ²	その他	合計
YoY ¹	+19.2% (+9.8%)	+16.3% (+9.3%)	+20.9% (+12.6%)	-6.6% (-13.0%)	-21.0% (-24.8%)	+19.5% (+9.8%)	+13.7% (+5.9%)



1 カッコ内は、為替影響を除外したYoY

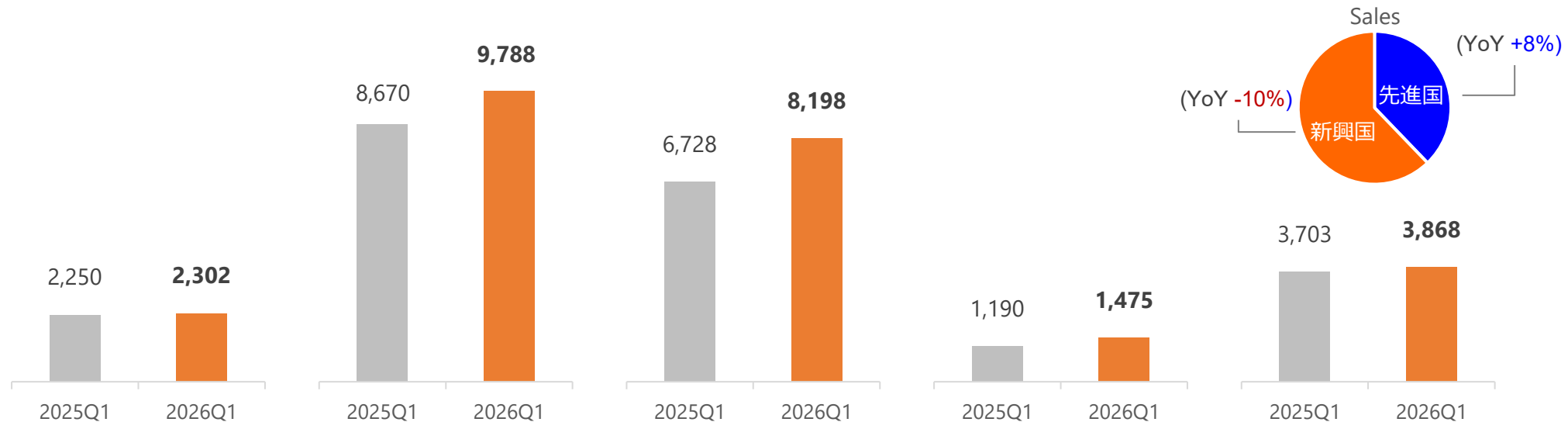
2 カテゴリ区分を軽微に見直し、一部品目の分類を調整。前期比較情報についても同様の基準で組替え

地域別売上高

- 北米は、市場のゆるやかな回復傾向に加え、価格適正化効果もあり好調
- 欧州は、前年発生したDealer倒産影響が一巡
- 中国は、電子ピアノの回復に加え、価格適正化前の一時的なセルイン増
- 新興国は、主力製品の一時的な欠品影響が主要因。今期中にキャッチアップ見込み

単位：百万円

	日本	北米	欧州	中国	その他	合計
YoY ¹	+2.3% (+2.3%)	+12.9% (+9.4%)	+21.8% (+6.6%)	+23.9% (+15.0%)	+4.5% (-4.4%)	+13.7% (+5.9%)

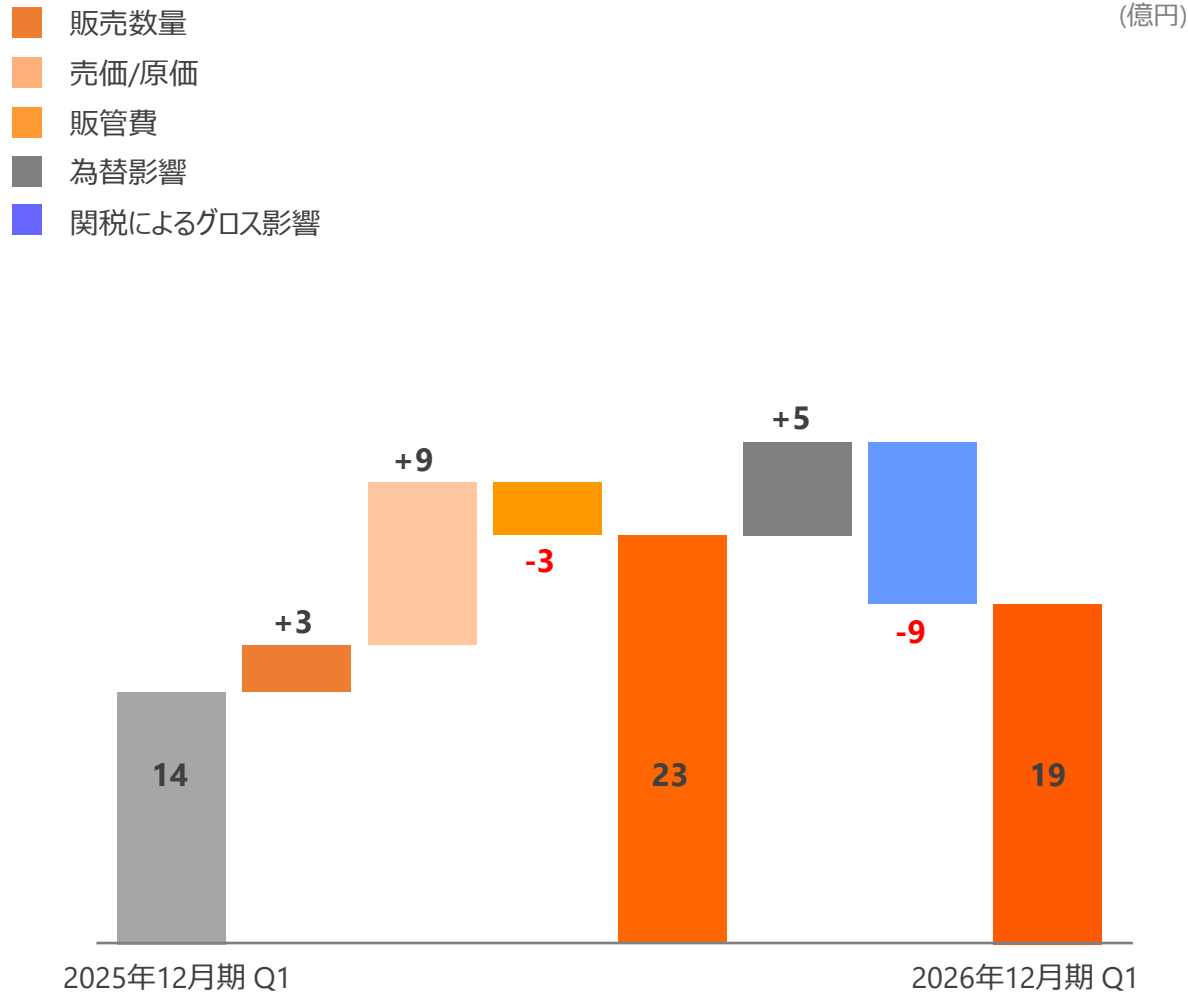


1 カッコ内は、為替影響を除外したYoY

連結営業利益

増減 (前年同期比)

主な要因 (前年同期比)



- **販売数量**

- ✓ 市場のゆるやかな回復
- ✓ 新製品の投入、好調

- **売価/原価**

- ✓ 主に価格適正化による効果

- **販管費**

- ✓ 研究開発、販促等への投資

トピックス：第1四半期発表の主な新製品

ギター関連機器

ギター／ベース・エフェクター

『GX-1』 『GX-1B』

- 定評ある「GXシリーズ」の、最軽量・コンパクトながら高品位なサウンドと直感的な操作性を備えたマルチ・エフェクター



『GX-1』

『GX-1B』



『GX-1』使用イメージ

ポータブル・アンプ

『CUBE Street MINI』

- コンパクトなサイズに充電式バッテリーを内蔵し、屋外演奏や小規模ライブでも活躍する楽器用オールイン・ワン・アンプ



『CUBE Street MINI』



『CUBE Street MINI』使用イメージ

クリエイション関連機器 & サービス

オーディオ・インターフェース／ミキサー

『GO:MIXER STUDIO』

- 軽量・コンパクトな設計により、場所を選ばず高音質な動画撮影・楽曲制作を可能にするポータブル・オーディオ・インターフェース



『GO:MIXER STUDIO』



『GO:MIXER STUDIO』使用イメージ

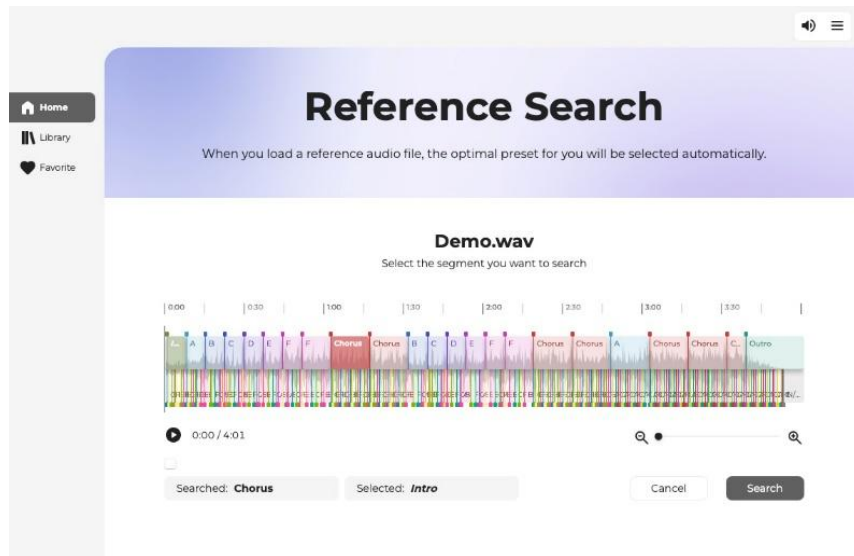
トピックス：第1四半期発表の主な新製品

その他

メロディー生成ソフトウェア

『Melody Flip』

- ソニーコンピュータサイエンス研究所の研究成果を取り入れた、**AIと共創する**メロディー生成ソフトウェア
- 楽曲データを解析し、構造、テンポ、キー、コード進行、ムードなどを把握したうえで、約300種類のパターンから**新たなメロディーのアイデアを提案**
- 提案は自由に選択・編集・再構築が可能で、**クリエイターの感性・個性を尊重した新たな音楽制作体験を実現**
- 主要な DAW（音楽制作ソフトウェア）上で、既存の制作ワークフローに組み込めるプラグインとして動作
- 「Roland Cloud」登録者は無料で利用可能



『Melody Flip』オーディオデータ解析画面イメージ
※開発中画面



音楽制作ソフト「Zenbeats」での『Melody Flip』使用画面イメージ
※開発中画面

1

2026年12月期 第1四半期業績概要

2

2026年12月期 通期業績見通し

3

補足資料

連結業績

- 業績見通しに変更なし
- 配当も期初予想を維持（半期末85円/株、期末85円/株）

	上期予想	下期予想	通期予想
売上高	495億円 ・YoY : +8.1%	569億円 ・YoY : +3.2%	1,064億円 ・YoY : +5.4%
営業利益	39億円 ・YoY : +2.0%	61億円 ・YoY : +9.2%	100億円 ・YoY : +6.2%

外部環境の前提変化について

- 減益要因は増益要因で吸収し、**現時点では業績予想への影響は限定的と認識¹**
- 状況変化に機敏に対応しつつ、**中計関連の費用投資は継続**

	業績予想との関連	現状認識	業績予想への影響 ¹	影響タイミング (予想)
1. 中東情勢 緊迫化	<ul style="list-style-type: none"> 策定後発生 	<ul style="list-style-type: none"> 中東売上は限定的（影響小） 原材料費上昇 調達環境の悪化 	<ul style="list-style-type: none"> 減益要因の可能性 	<ul style="list-style-type: none"> Q2以降
2. 半導体メモリ 需給逼迫	<ul style="list-style-type: none"> 一部織り込み済 	<ul style="list-style-type: none"> 数量は確保済 価格高騰は想定を上回る 	<ul style="list-style-type: none"> 減益要因 	<ul style="list-style-type: none"> Q2以降
3. 米国関税率 の変化	<ul style="list-style-type: none"> P.16記載の関税率を前提に策定 	<ul style="list-style-type: none"> 一部期間（2月～7月）関税率が想定以下 	<ul style="list-style-type: none"> 増益要因 	<ul style="list-style-type: none"> Q2以降
為替変動	<ul style="list-style-type: none"> P.16記載の為替レートで策定 	<ul style="list-style-type: none"> 想定比円安で推移 	<ul style="list-style-type: none"> 増益要因の可能性 	

¹ 入手可能な最新の情報に基づく予測であり、今後の動向により変化する可能性があります

1 2026年12月期 第1四半期業績概要

2 2026年12月期 通期業績見通し

3 補足資料

2026年業績予想における各種前提（再掲：2026年2月13日開示資料）

米国追加関税率

生産地	追加関税率	主な生産品目
Malaysia	19%	管打楽器、鍵盤楽器、ギター関連、クレーション
China	20%	管打楽器、鍵盤楽器、クレーション
Taiwan	20%	管打楽器、ギター関連
Japan	15%	映像関連、ギター関連
Vietnam	20%	鍵盤楽器、ギター関連
Thailand	19%	ギター関連機器、管打楽器
Indonesia	19%	鍵盤楽器

為替レート

	想定レート
USD/JPY	148円
EUR/JPY	170円
EUR/USD	1.149

（ご参考）為替感応度^{1, 2}

	変動幅	売上	営業利益
USD/JPY	¥1 円安	+2.9億円	+1.2億円
EUR/JPY	¥1 円安	+1.8億円	+0.1億円
EUR/USD	¢1 ドル安	-	+1.7億円

¹ 年間影響額（目安）

² 実際には様々な通貨ペアの影響や売上構成比の変化等の影響があり、想定と実際の為替影響額は異なる場合があります

主要連結財務数値

(単位: 百万円)	2025年12月期 Q1	2026年12月期 Q1	(単位: 百万円)	2025年12月期 期末	2026年12月期 Q1末
売上高	22,543	25,633	現金及び預金	15,876	16,261
売上総利益	9,559	10,682	受取手形及び売掛金	13,353	11,257
販売費及び一般管理費	8,117	8,735	棚卸資産合計	27,321	26,694
営業利益	1,442	1,947	その他流動資産	2,243	1,441
経常利益	1,343	1,731	流動資産合計	58,795	55,655
税金等調整前四半期純利益	1,319	1,730	有形固定資産合計	14,234	14,590
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,835	1,429	のれん	2	0
EBITDA	2,198	2,679	その他固定資産	10,444	10,563
D/Eレシオ	0.7x	0.5x	固定資産合計	24,681	25,154
自己資本比率	47.3%	50.8%	資産合計	83,477	80,809
Debt / EBITDA ¹	2.1x	1.6x	支払手形及び買掛金	6,841	6,935
ROE ¹	16.1%	4.4% [17.6% ⁴]	短期借入金	1,100	—
ROIC ¹	15.4%	15.1%	1年内返済予定の長期借入金	2,570	2,570
研究開発費	1,284	1,356	その他流動負債	9,659	8,426
設備投資額 ²	1,093	863	長期借入金	18,490	17,847
減価償却費	755	732	その他固定負債	3,452	3,642
フリー・キャッシュ・フロー ³	2,935	4,309	負債合計	42,113	39,422
			純資産合計	41,364	41,386
			負債純資産合計	83,477	80,809

1 Debt/EBITDA、ROE、ROICは年換算（直近12か月累計）値

2 有形+無形固定資産の金額

3 フリー・キャッシュ・フローは営業キャッシュ・フローと投資キャッシュ・フローの合計

4 2025年度に計上した、Drum Workshop社に係る一時費用の影響を除く

将来見通しに関する注意事項

本資料はローランド株式会社の「将来予想に関する記述に該当する情報」が記載されています。本資料における記述のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来予測に関する記述に該当します。これら将来予測に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。これには既知または未知のリスクおよび不確実性ならびにその他の要因が内在しており、実際の業績と大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、当社の事業を取り巻く経済情勢、需要動向、為替相場の変動等が含まれます。